

日本統計学会春季集会 2010 の報告

岩崎 学 (日本統計学会理事長)

稲葉由之 (春季集会担当理事)

標記の集会が 2010 年 3 月 7 日 (日) に東京渋谷の青山学院大学で開催され、関係者のご協力により無事終了することができました。今回の集会では、3 つの口頭発表セッション「高等教育における統計教育の分野別質保証に向けたガイドラインと評価の枠組み」、「日本統計学会各賞受賞者講演」、「政府統計における調査方法の評価」を展開しました。集会の参加者数は 158 名を数え (2009 年 125 名, 2008 年 82 名)、集会後の懇親会にも 62 名の方々が参加されました。

「高等教育における統計教育の分野別質保証に向けたガイドラインと評価の枠組み」のセッションでは、英国王立統計学会の Gerald Goodall 氏、中国人民大学の Yuan Wei 氏および国際基督教大学の北原和夫氏をお迎えし、それぞれ、英国での学会による各大学の統計学のコースの認証の話、中国での統計の専門家の資格認証に関する試験制度の話、および日本の学術会議の分野別質保証に関する興味深い最近の話題提供をしていただきました。「日本統計学会各賞受賞者講演」のセッションでは、2009 年 9 月の連合大会の折に各賞を受賞された吉田朋広 (日本統計学会賞)、駒木文保 (研究業績賞)、西山慶彦 (研究業績賞)、西山陽一 (小川賞) の方々の記念講演が行われ、それぞれ受賞に至った業績から今後の発展まで最先端の研究が披露されました。「政府統計における調査方法の評価」のセッションでは、会田雅人、廣松 毅、土屋隆裕の各氏から、統計法の改訂に伴う政府統計のあり方および統計調査の制度などにかかわる興味深い事例などが報告されました。

また昨年に引き続きポスターセッションも企画され、若手の統計家を中心に 22 件の発表がありました (2009 年 10 件)。ポスターセッション会場では来場者との熱心な議論および発表者同士の交流などが行われていました。今回の集会では、優秀発表賞のほかに学部学生や修士課程の学生を対象とした学生優秀発表賞を新たに設けて優秀な発表を表彰しました。優秀発表賞として、野村俊一 (総合研究大学院複合科学研究科 D1)、山本雄三 (東京工業大学大学院社会理工学研究科 D3) の 2 名、学生優秀発表賞として、矢部竜太 (一橋大学大学院経済学研究科 M2)、石黒久稔 (青山学院大学理工学部 U4)、橋本 翔 (大阪大学大学院人間科学研究科 M2)、藤本翔太 (大阪大学大学院基礎工学研究科 M1) の 4 名が受賞し、懇親会会場にて美添会長より表彰されました (氏名の順序は申込受付順)。各発表ともレベルが高く、受賞者の決定が難しくうれしい悲鳴であったと聞いています。ポスターセッションが、今回の参加者数の増加、特に若手の参加者の増加の主たる要因となった点も特筆すべきです。

春季集会の前々日 3 月 5 日 (金) と 6 日 (土) には、成蹊大学において第 6 回統計教育の方法論ワークショップ (社会の期待に応える統計教育の構築—「資料の活用」から「データの分析」をどう教えるのか—) が開催され、春季集会のセッションと併せて統計教育に関する 3 日間の研究集会となりました。

最後になりましたが、このような集会の場をご提供いただいた青山学院大学に感謝申し上げるとともに、次回 2011 年の春季集会への会員の皆様のご参加をお待ちしています。